

プラパレ洗浄を開始

姫路西配センター事業協組

【兵庫】姫路西配センター事業協組(木南一志理事長、たつの市)は1日から、プラスチックパレット洗浄サ

化にパレット輸送は不可欠となっている。一方、今後はプラスチック製がシェアをを広げる可能性が高い」と、事務局を統括する専務理事の助光隆男氏は話す。事業再構築補助金の第2回公募(新分野展

開)で計画が採択されており、機械発注など昨秋から着々と準備を進めてきた。プラパレのニーズが高まっているう

え、昨今の原油高騰によってリユースする考え方が定着。た



専用機による洗浄ラインの流れを説明する助光専務

だ、飲料や食品、医薬品などパレットに厳しい衛生管理が求められる例も多く、汚れのあるパレットを使用することは品

質面でデメリットとなる。そのためパレットの所有者であるメーカーなどでは「いまは従業員らが手洗いしている」といった現実的な悩み

があり、車両の手配から引き取り・納品保管など一貫して対応できる。ただ、用

途やサイズなど依頼主が求める洗浄基準に合わせる必要がある」と同専務。

8月22日、同組合の敷地内にある既存施設(250坪)を活用した「パレット洗浄・南山ベース」でデモンストレーションが実施され、プラ

パレを使っていない洗浄機はパレットの投入から段階

で1時間に100枚の洗浄が可能。基本は水のみで洗浄だが、希望があれば洗浄剤の使用にも応じている。また、洗う温度をセ氏

80〜100度と幅を設けているほか「お急ぎ洗浄」「除菌洗浄」「シールはがし」などのオプションもそろえる。

1981年設立の同組合は17社で構成され、ETCコーポレーションと倉庫、パレット販売(長尾和仁)

乾燥、段積み、取り出しまで全自動。12種類のサイズに対応できる設計で、最大で1時間に100枚の洗浄が可能。基本は水のみで洗浄だが、希望があれば洗浄剤の使用にも応じている。また、洗う温度をセ氏80〜100度と幅を設けているほか「お急ぎ洗浄」「除菌洗浄」「シールはがし」などのオプションもそろえる。